

翻訳アプリなどを使って スムーズな窓口対応を

障害を持つ人や外国人に
優しい窓口にしてほしい

小中学校の再編計画の
実施予定や期間は

石井 聡美 議員



石井 聴覚障害者への配慮を示す「耳マーク」を、市役所の窓口のものと目立つ場所に設置すべきではないか。

健康福祉部長 健康者の方も含めて取り組みに協力するという意識付けは必要なので検討したい。

石井 窓口にある外国人用の書類は漢字で書かれている。翻訳アプリを利用するなどスムーズなコミュニケーションへの配慮が必要ではないか。

市民生活部長 案内等の工夫のほか、各課にある防災対応のタブレットの活用も図りたい。

石井 高梁市立学校園適正配置検討委員会でも検討している学校再編は今後どうなるのか。

教育長 委員会からの報告をいただいた後、小学校区を回って意見を聴く。その後、教育委員会で実施計画を立てる。

石井 地域を回ることで計画を見直す場合もあるのか。

教育長 地域でしっかりと議論していただき、意見をいただいた上で総合的にまとめていく。10年程度の期間をかけての執行をイメージしている。

農業施策について

農地の再造成について

新倉 農地の再造成が宇治地区、平川地区、湯野地区で行われたと聞くが、その面積や内容を問う。
産業経済部長 まず宇治地区は県の小規模農地を活用して4・0haで3区画、国の農地耕作改善事業を活用して平川地区は1・8haで6区画、湯野地区は2・6haで8区画造成がなされている。
新倉 造成された区画の利用状況を問う。

新倉 淳 議員



的に取り組んでください。

有害鳥獣について

新倉 有害鳥獣の保護柵等の補助事業を受けるための最低要件を問う。

産業経済部長 100メートル以上で農地を完全に囲うものであること。

新倉 畑の形状にもよるが、家庭菜園としては少し広すぎる。丹精込めて作った野菜が有害鳥獣にやられた話をよく聞くことがあり、要件緩和ができないか。

産業経済部長 25メートルの正方形だとすると、625平方メートルとかなり大きな面積となる。今後、要望等をお聞きして要件の修正なりをしていきたい。

新倉 今後も国などの施策に積極

3人目以降の子どもには1千万円の補助を

小林 重樹 議員



デジタルスマートシティの
促進について

小林 住民票などコンビニエンスストアでの電子交付に取り組むべきではないか。

市長 コンビニ交付を導入するだけのメリットがあるかどうかというところもあるが、来年3月から全国で戸籍の広域交付が始まるので、導入するかどうか、もう少し研究、検討していく。

移住、定住施策について

小林 子育て世帯や若者への住宅支援と次年度に向けた事業展開について問う。

政策監 住まいに係る支援制度については本年7月に行った制度利用者のアンケート結果等に基づき

既存制度の検証を行いつつ、他自治体の事例等を参考として、支援制度そのもののスワップ・アンド・ビルドや対象者要件、支援額の拡大や縮小等の見直し作業を新年度予算に向けて進めている。

人口問題について

小林 国が示した子育て支援金に市が上乗せして、3人目以降の子どもには総額1000万円の補助をしてあげることができないか。

市長 国の施策に上乗せするという形のものであれば、他制度の精査をする中で組み立てができるかもしれない。良いご意見だと私も思う。

政府通達は公営住宅の 「連帯保証人は不要にすべき」とあるが

石部 誠 議員



市の不祥事への対応について

石部 市の未払い案件の対応は「職員の事務の不適切な処理による未払い」があったとされた。今回は2度目でもあり、発生した背景やシステムまで調査が必要である。執行機関や副市長・市長の責任が大きいのでは。

総務部長 直接的な原因は、当該職員の事務手続のミス。職員の行為を見抜けなかった上司。それをチェックできないなど複合的である。全職員のコンプライアンス研修の実施、コミュニケーションを取り合える組織風土の醸成も必要。執行部としても改めて再発防止策を組織として考えていく。

健康で文化的な生活を
営むに足りる市営住宅を

石部 市営住宅のバリアフリーや改修の具体策は。

土木部長 「長寿命化計画等に基づき改修している。改修を行うと居住環境の向上により、家賃の値上げが見込まれる。

石部 住宅困窮者の社会保障として市営住宅がある。政府通達は入居しやすいよう「保証人は不要にすべき」とあるが、市の現状は。

副市長 法改正により「保証人は不要」となっているが、高梁市は保証人を必要としている。今後他の状況を見ながら検討をする。
石部 連帯保証人の問題、税金滞納の問題、市営住宅から市営住宅への転居など対応の緩和を求め